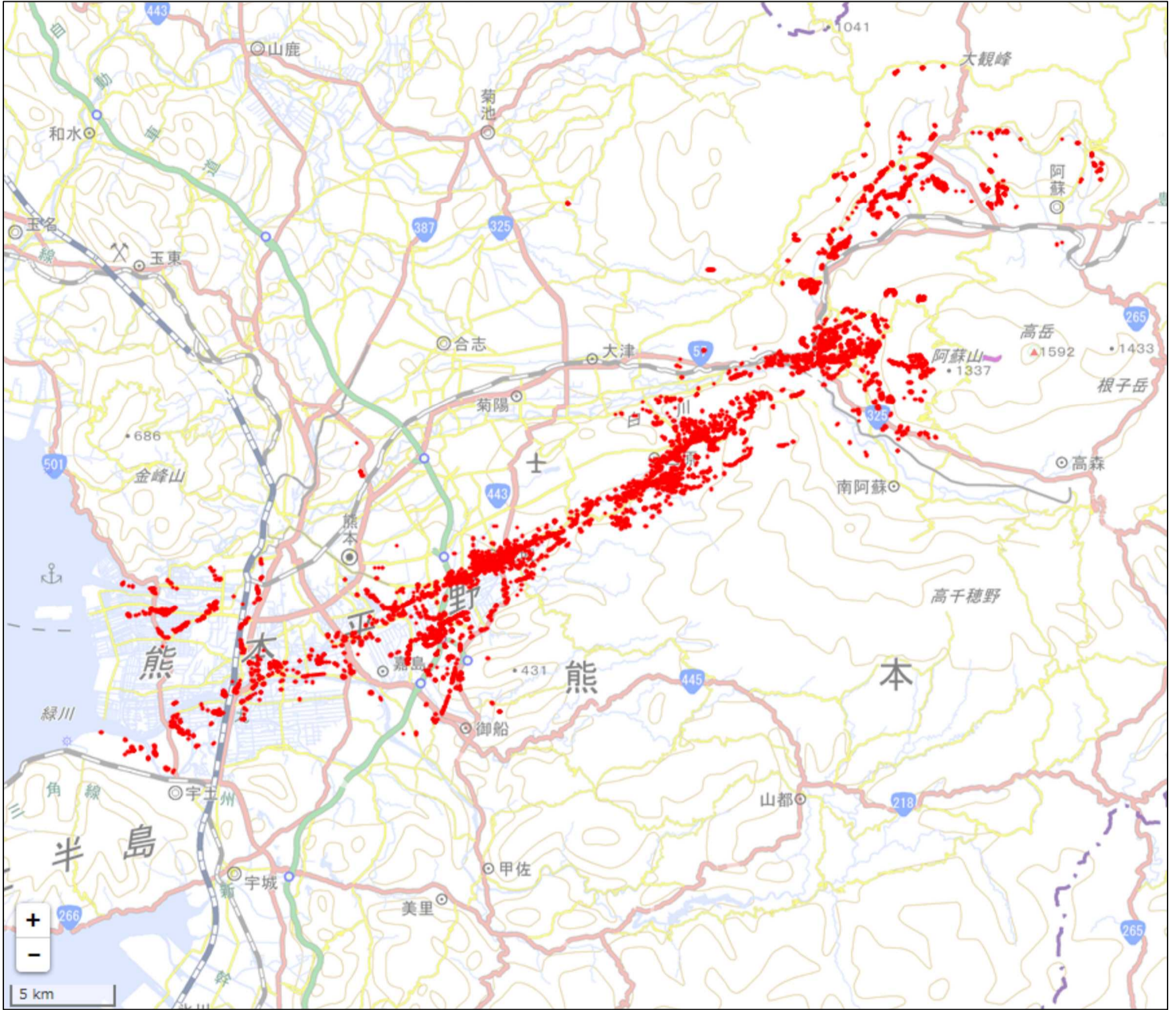


空から見た(航空写真判読による)布田川断層帯周辺の地表の亀裂分布図



布田川断層帯周辺の地表の亀裂分布図について

平成28年4月16日1時25分の地震(マグニチュード7.3)の発生後に、国土地理院が撮影した航空写真を用いて、布田川(ふたがわ)断層帯周辺を中心に地震により生じたと推定される地表の亀裂を判読しました。

判読した亀裂は、今回の地震による断層のずれが地表に現れたもの、斜面の崩落等により生じたもの、地震動や液状化によって生じたもの等がありますが、現地踏査をしていませんので区別していません。

益城町(ましきまち)や西原村(にしはらむら)付近では、都市圏活断層図「熊本」で示されている布田川断層帯の断層線付近に断続的に亀裂が確認でき、この活断層が活動したことが伺えます。また、益城町付近では、断層線から分岐して延びる亀裂も確認でき、都市圏活断層図では示されていない新たな活断層が存在している可能性があります。

(注) 布田川断層帯周辺を中心に航空写真判読により確認できるものを抽出しており、現地で確認できるものを必ずしもすべて含んでおりません。また、より詳細な判読により、今後内容が更新されることがあります。

平成28年10月3日

凡 例

— 地表の亀裂